

## Ⅱ 家畜・畜産物の流通



## Ⅱ 家畜・畜産物の流通

### 1. 概 要

家畜流通の重要な機能を担う家畜市場は、離島の多い本県においては8市場が整備され、肉用子牛・ヌレ子・成牛が定期的に取り引されている。平成19年に黒島家畜市場が整備され、平成22年には今帰仁家畜市場、平成23年には南部家畜市場が整備されている。

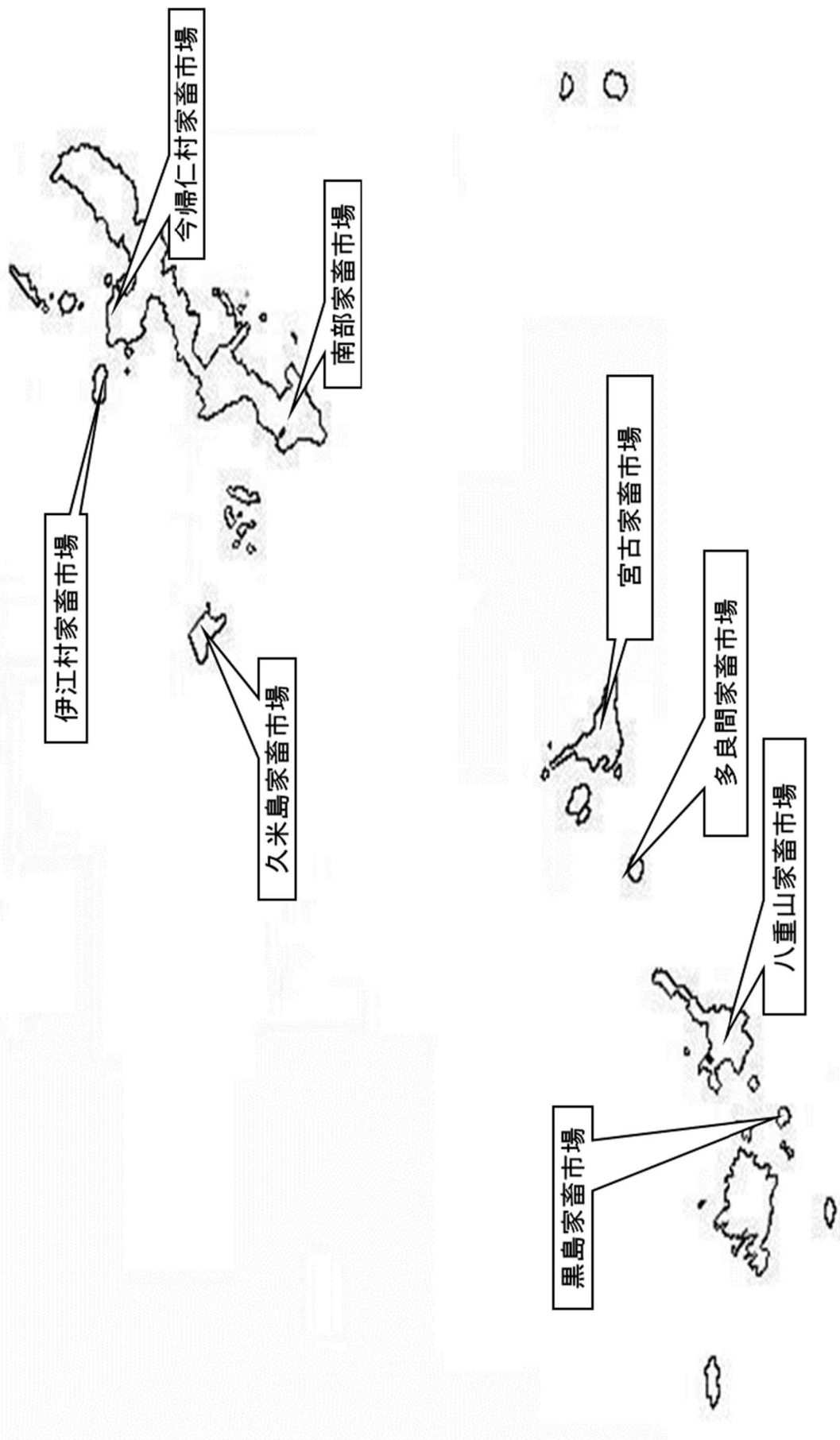
食肉流通施設の整備については、昭和56年10月に策定された「沖縄県食肉流通施設整備方針」に基づき、昭和56年度に(株)沖縄県食肉センターの部分肉処理施設の整備、昭和57年度に(株)宮古食肉センターの整備、昭和59年度に(株)沖縄県食肉センター部分肉処理施設の増設を行った。近年では、平成12年度に(株)宮古食肉センターの衛生改善整備、平成13年度に(株)八重山食肉センターの衛生改善整備を行った。また、平成13年度をもって(株)真玉橋食肉センター及び(株)沖縄県食肉センター名護分工場が廃止された。平成14年度には、畜産基盤再編総合整備事業により、(株)沖縄県食肉センターの牛部門が整備され、名護市食肉処理施設整備事業により、名護市食肉センターが完成した。平成22年度には、沖縄県食肉センターにおいて、豚と山羊のと畜処理施設、与那国食肉処理施設において、牛のと畜処理施設を整備している。離島畜産活性化施設整備事業により平成25年に八重山食肉センター、平成28年に宮古食肉センターが新たに整備された。老朽化した食鳥処理施設については、統合するとともに、県内食鳥処理業者の協業化を図り、令和元年度に沖縄振興特別推進交付金により新たに名護市食鳥処理施設が整備された。

県内で生産されている畜産物のうち、鶏肉及び鶏卵は大部分が県内で消費されている。

牛肉については、県内消費量は少なく、大部分が枝肉または生体で県外に出荷されていたが、平成24年度には、沖縄食肉価格安定等特別対策事業により部分肉処理加工施設が整備され、県産牛肉の流通量増加が期待されている。

豚肉については、県民の部位嗜好性が県外とは異なり、三枚肉(バラ肉)、ソーキ(スペアリブ)等が好まれる一方、ロースやモモ、ウデなどの部位は消費が伸びず、県外に出荷されている。

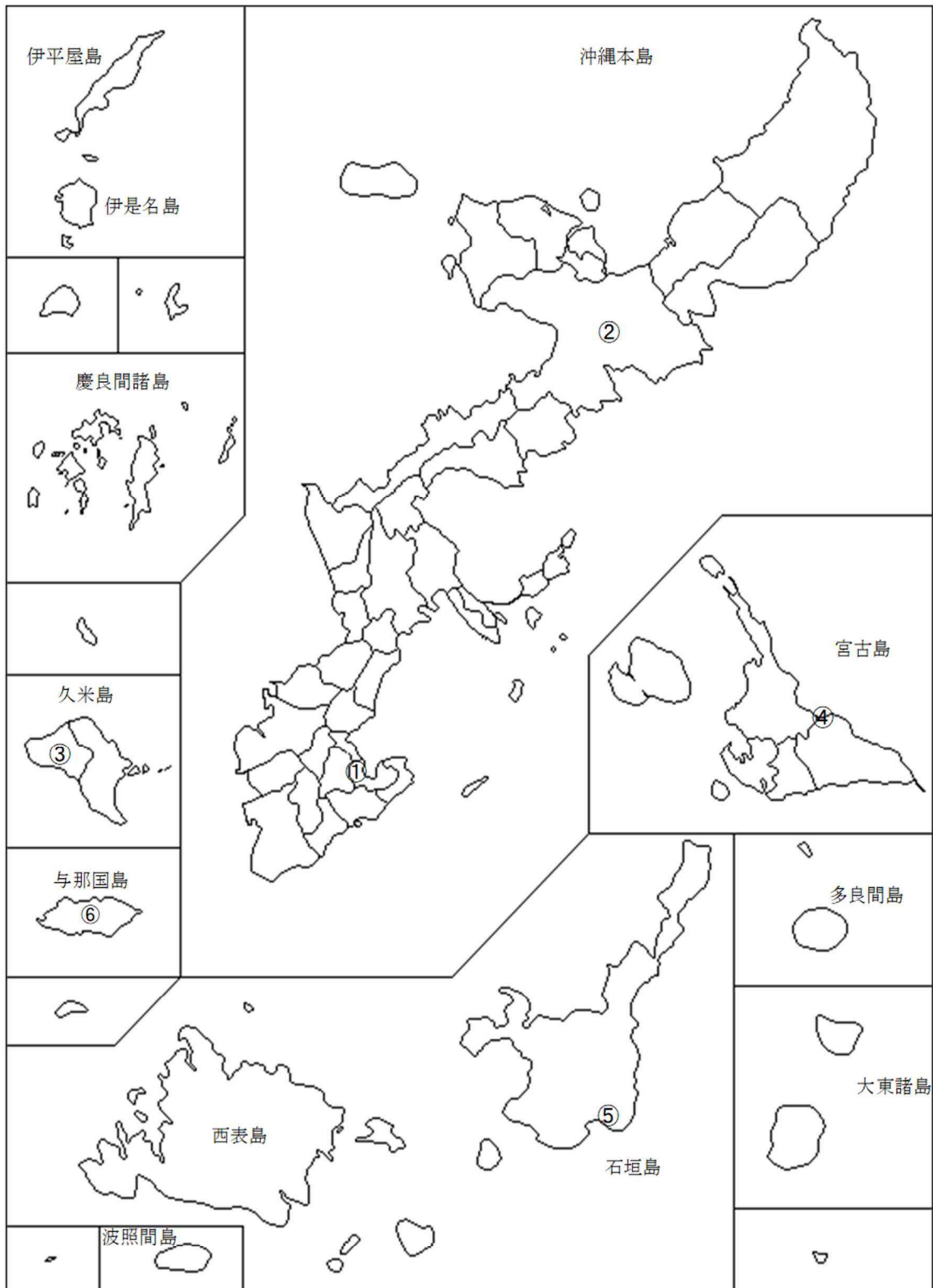
## 2. 沖縄県内家畜市場



## 県内家畜市場の概要

番号	家畜市場名	所在地	開設者名	登録年月日	年間総開催日数	開催年月日		備考
						肉専用種	乳用種	
1	南部家畜市場	〒901-0311 系満市武富461	(一財)南部振興会	昭和51年6月14日	30	毎月17日 (12月は7日)	毎月27日	山羊 年6回 偶数月の7日
2	伊江村家畜市場	〒905-0501 伊江村字東江上1110-2	沖縄県農業協同組合	昭和51年6月14日	9	1,2,3,4,5,7,9,10 11月の15日		
3	今帰仁家畜市場	〒905-0401 今帰仁村仲宗根678	沖縄県農業協同組合	昭和51年6月17日	12	毎月16日 (12月は6日)		山羊 年4回
4	八重山家畜市場	〒907-0002 石垣市真栄里上原907	沖縄県農業協同組合	昭和51年6月21日	24	毎月13・14日		
5	久米島家畜市場	〒901-3108 久米島町字比嘉島川原1645	沖縄県農業協同組合	昭和51年7月23日	6	奇数月の18日		
6	宮古家畜市場	〒906-0013 宮古島市平良下里3107-563	沖縄県農業協同組合	昭和51年8月5日	12	毎月19日 (10月は29日)		
7	黒島家畜市場	〒907-1311 竹富町字黒島353-15	沖縄県農業協同組合	昭和58年2月4日	6	奇数月の13日 (3,11月は12日、9月は20日)		
8	多良間家畜市場	〒906-0601 多良間村塩川2795-6	沖縄県農業協同組合	平成10年5月13日	7	1,2,4,6,8,9,11月の19日 12月は9日		

### 3. 沖縄県内の食肉センター設置状況



名 称	開設年月	所 在 地	処理能力(頭/日)	連 絡 先
① (株)沖縄県食肉センター	昭和47年2月	南城市大里字大城1927	小動物:1,200、大動物:30	098-945-3029
② 名護市食肉センター	平成13年12月	名護市世富慶755	小動物:708、大動物:3	0980-53-6801
③ 久米島と畜場	昭和59年5月	久米島町字兼城215	小動物換算:20(大動物1)	098-985-3094
④ (株)宮古食肉センター	昭和53年8月	宮古島市上野字野原1190-187	小動物:25、大動物:5	0980-76-6112
⑤ (株)八重山食肉センター	昭和49年12月	石垣市字大浜1412	小動物:50、大動物:20	0980-82-3594
⑥ 与那国町食肉処理場	平成23年1月	与那国町字与那国1113-1	小動物:10、大動物:2	0980-87-3261

#### 4. 畜種別と畜頭数および枝肉重量

単位：頭・kg

年度	畜種	牛		馬		豚		山 羊	
		頭数	枝肉量	頭数	枝肉量	頭数	枝肉量	頭数	枝肉量
平成 11 年		6,072	2,164,336	225	60,506	444,172	34,685,195	4,129	103,594
平成 12 年		5,418	1,929,762	225	58,353	439,561	34,119,894	4,567	121,387
平成 13 年		4,345	1,609,545	211	58,582	425,538	33,589,088	3,682	98,460
平成 14 年		3,947	1,363,252	205	56,390	398,791	31,050,639	2,613	63,174
平成 15 年		3,307	1,171,976	202	56,249	370,705	29,161,170	2,190	55,364
平成 16 年		3,484	1,203,432	284	70,041	356,670	28,514,027	1,956	46,604
平成 17 年		3,753	1,339,210	198	54,098	329,886	25,911,140	1,990	45,463
平成 18 年		3,653	1,339,135	130	33,580	326,059	25,488,818	1,711	44,249
平成 19 年		3,746	1,362,316	91	23,692	327,144	25,502,681	1,571	38,647
平成 20 年		4,348	1,530,715	87	22,153	322,821	25,039,073	1,514	38,401
平成 21 年		4,611	1,566,951	70	17,490	347,628	27,292,566	1,364	34,809
平成 22 年		4,581	1,526,587	58	15,009	365,421	28,871,249	1,476	37,771
平成 23 年		4,293	1,424,028	70	18,440	355,962	27,572,485	1,482	38,852
平成 24 年		4,161	1,426,741	73	17,122	351,121	28,695,948	2,328	57,625
平成 25 年		4,558	1,590,905	69	15,722	332,653	26,798,233	2,465	61,207
平成 26 年		4,158	1,538,192	46	8,956	311,230	24,726,369	2,412	63,255
平成 27 年		3,729	1,394,227	25	5,452	312,396	25,258,799	2,282	60,137
平成 28 年		3,823	1,491,440	29	6,920	316,638	25,821,698	2,116	57,558
平成 29 年		4,037	1,622,518	30	5,839	330,221	26,717,960	2,429	64,152
平成 30 年		4,178	1,736,390	45	9,409	337,760	27,408,105	2,781	75,157

注) 1. 牛は肉用牛、乳用牛の計である。

2. 馬は子馬を除く

資料提供：衛生業務課

## 5. 格付状況

### (1) 牛枝肉の格付状況

#### 沖縄県

##### 黒毛和種去勢牛

調査頭数	頭数	A-5	A-4	A-3	A-2	A-1	B-5	B-4	B-3	B-2	B-1	C-5	C-4	C-3	C-2	C-1
25年次	2,276.0	384.0	874.0	642.0	147.0	-	13.0	75.0	104.0	37.0	-	-	-	-	-	-
	100.0	16.9	38.4	28.2	6.5	-	0.6	3.3	4.6	1.6	-	-	-	-	-	-
26年次	2,210.0	438.0	904.0	537.0	96.0	-	7.0	81.0	111.0	34.0	-	-	-	-	-	2.0
	100.0	19.8	40.9	24.3	4.3	-	0.3	3.7	5.0	1.5	-	-	-	-	-	0.1
27年次	1,910.0	528.0	768.0	377.0	65.0	-	15.0	61.0	78.0	15.0	-	-	1.0	-	2.0	-
	100.0	27.6	40.2	19.7	3.4	-	0.8	3.2	4.1	0.8	-	-	0.1	-	0.1	-
28年次	1,822.0	516.0	793.0	326.0	53.0	-	12.0	48.0	63.0	9.0	1.0	-	-	-	-	1.0
	100.0	28.3	43.5	17.9	2.9	-	0.7	2.6	3.5	0.5	0.1	-	-	-	-	0.1
29年次	2,212.0	685.0	916.0	323.0	37.0	-	24.0	117.0	83.0	25.0	1.0	-	-	-	-	1.0
	100.0	31.0	41.4	14.6	1.7	-	1.1	5.3	3.8	1.1	0.0	-	-	-	-	0.0
30年次	2,442.0	817.0	923.0	300.0	37.0	-	48.0	177.0	105.0	32.0	0.0	-	1.0	1.0	-	1.0
	156.0	63.6	37.9	23.4	2.9	-	3.7	13.8	8.2	2.5	0.0	-	-	-	-	-

##### 黒毛和種めす

調査頭数	頭数	A-5	A-4	A-3	A-2	A-1	B-5	B-4	B-3	B-2	B-1	C-5	C-4	C-3	C-2	C-1
25年次	1,992.0	138.0	417.0	431.0	215.0	2.0	4.0	42.0	100.0	444.0	67.0	-	-	1.0	14.0	117.0
	100.0	6.9	20.9	21.6	10.8	0.1	0.2	2.1	5.0	22.3	3.4	-	-	0.1	0.7	5.9
26年次	1,766.0	87.0	328.0	415.0	282.0	1.0	5.0	46.0	154.0	367.0	24.0	-	-	1.0	15.0	41.0
	100.0	4.9	18.6	23.5	16.0	0.1	0.3	2.6	8.7	20.8	1.4	-	-	0.1	0.8	2.3
27年次	1,813.0	129.0	432.0	360.0	272.0	5.0	4.0	45.0	135.0	385.0	15.0	-	-	-	12.0	19.0
	100.0	7.1	23.8	19.9	15.0	0.3	0.2	2.5	7.4	21.2	0.8	-	-	-	0.7	1.0
28年次	1,526.0	111.0	384.0	369.0	200.0	5.0	9.0	39.0	107.0	255.0	23.0	-	-	-	7.0	17.0
	100.0	7.3	25.2	24.2	13.1	0.3	0.6	2.6	7.0	16.7	1.5	-	-	-	0.5	1.1
29年次	2,442.0	817.0	923.0	300.0	37.0	-	48.0	177.0	105.0	32.0	0.0	-	1.0	1.0	-	1.0
	100.0	33.5	37.8	12.3	1.5	-	2.0	7.2	4.3	1.3	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0
30年次	1,284.0	153.0	276.0	218.0	107.0	10.0	11.0	48.0	100.0	297.0	31.0	-	1.0	2.0	16.0	14.0
	100.0	11.9	21.5	17.0	8.3	0.8	0.9	3.7	7.8	23.1	2.4	-	0.1	0.2	1.2	1.1

##### (参考) 沖縄県における測定項目別の平均値

黒毛去勢牛	枝肉重量	胸面積	ばら厚さ	皮下厚さ	歩留値	BMSNo.	BCSNo.	締りきめ	BFSNo.
25年次	447.2	55.2	7.3	2.5	73.7	5.6	3.9	3.7	3.0
26年次	455.0	56.4	7.4	2.6	73.7	5.9	3.9	3.8	3.0
27年次	451.1	57.0	7.5	2.6	73.9	6.3	3.9	4.0	3.0
28年次	453.6	57.4	7.5	2.5	73.9	6.4	3.9	4.0	3.0
29年次	459.8	56.9	7.3	2.6	73.7	6.5	3.9	4.1	2.9
30年次	475.3	57.1	7.4	2.7	73.4	6.8	3.9	4.2	2.9

注: 1)胸面積=胸最長筋面積、皮下厚さ=皮下脂肪の厚さ、歩留値=歩留基準値、締りきめ=締まり・きめの等級である。

2)この表は測定項目の平均値であるが、「締りきめ」のみは等級の平均である。

3)出荷県とは、出荷された方の所属する県のこと言う。

資料: 公益社団法人 日本食肉格付協会 「牛枝肉、出荷県別格付結果情報」



# 全国

## 黒毛和種去勢牛

	頭数	A-5	A-4	A-3	A-2	A-1	B-5	B-4	B-3	B-2	B-1	C-5	C-4	C-3	C-2	C-1
25年次	255,778.0	57,009.0	103,637.0	59,964.0	13,664.0	5.0	938.0	6,330.0	8,486.0	4,760.0	79.0	1.0	21.0	70.0	278.0	536.0
	1000	22.3	40.5	23.4	5.3	0.0	0.4	2.5	3.3	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2
26年次	251,964.0	68,432.0	104,265.0	49,836.0	9,098.0	2.0	1,273.0	6,924.0	7,646.0	3,642.0	71.0	0.0	23.0	59.0	238.0	455.0
	1000	27.2	41.4	19.8	3.6	0.0	0.5	2.7	3.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2
27年次	244,034.0	77,743.0	100,972.0	40,637.0	6,511.0	3.0	1,411.0	6,764.0	6,314.0	2,820.0	75.0	2.0	26.0	53.0	251.0	452.0
	1000	31.9	41.4	16.7	2.7	0.0	0.6	2.8	2.6	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2
28年次	230,854.0	80,411.0	94,806.0	34,759.0	5,159.0	5.0	1,345.0	6,030.0	5,437.0	2,118.0	72.0	1.0	34.0	51.0	215.0	411.0
	1000	34.8	41.1	15.1	2.2	0.0	0.6	2.6	2.4	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2
29年次	234,459.0	89,772.0	93,184.0	32,204.0	4,661.0	2.0	1,351.0	5,806.0	4,829.0	1,924.0	60.0	3.0	21.0	44.0	181.0	417.0
	1000	38.3	39.7	13.7	2.0	0.0	0.6	2.5	2.1	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2
30年次	239,051.0	98,635.0	91,670.0	30,353.0	3,888.0	4.0	1,553.0	5,762.0	4,698.0	1,737.0	59.0	2.0	19.0	48.0	210.0	413.0
	1000	41.3	38.3	12.7	1.6	0.0	0.6	2.4	2.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2

## 黒毛和種めす牛

	頭数	A-5	A-4	A-3	A-2	A-1	B-5	B-4	B-3	B-2	B-1	C-5	C-4	C-3	C-2	C-1
25年次	234,233.0	35,444.0	67,162.0	48,326.0	25,693.0	169.0	773.0	5,500.0	10,065.0	30,467.0	2,906.0	0.0	29.0	95.0	2,064.0	5,540.0
	1000	15.1	28.7	20.6	11.0	0.1	0.3	2.3	4.3	13.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.9	2.4
26年次	222,689.0	41,747.0	70,094.0	42,817.0	19,506.0	179.0	1,103.0	6,312.0	9,845.0	24,670.0	2,016.0	4.0	28.0	114.0	1,119.0	3,135.0
	1000	18.7	31.5	19.2	8.8	0.1	0.5	2.8	4.4	11.1	0.9	0.0	0.0	0.1	0.5	1.4
27年次	208,403.0	46,147.0	68,248.0	35,454.0	15,201.0	140.0	1,241.0	6,267.0	8,283.0	21,630.0	1,794.0	2.0	27.0	91.0	1,039.0	2,839.0
	1000	22.1	32.7	17.0	7.3	0.1	0.6	3.0	4.0	10.4	0.9	0.0	0.0	0.0	0.5	1.4
28年次	187,105.0	47,854.0	61,297.0	29,230.0	12,117.0	96.0	1,285.0	5,655.0	7,116.0	17,471.0	1,422.0	5.0	29.0	82.0	838.0	2,608.0
	1000	25.6	32.8	15.6	6.5	0.1	0.7	3.0	3.8	9.3	0.8	0.0	0.0	0.0	0.4	1.4
29年次	180,005.0	50,355.0	57,349.0	26,189.0	11,826.0	48.0	1,292.0	5,550.0	6,694.0	16,180.0	870.0	3.0	37.0	63.0	990.0	2,559.0
	1000	28.0	31.9	14.5	6.6	0.0	0.7	3.1	3.7	9.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	1.4
30年次	186,976.0	52,611.0	56,747.0	25,295.0	12,368.0	85.0	1,469.0	5,527.0	6,874.0	19,598.0	997.0	11.0	35.0	108.0	1,409.0	3,842.0
	1000	28.1	30.3	13.5	6.6	0.0	0.8	3.0	3.7	10.5	0.5	0.0	0.0	0.1	0.8	2.1

### (参考)全国における測定項目別の平均値

黒毛去勢牛	枝肉重量	胸面積	ばら厚さ	皮下厚さ	歩留値	BMSNo.	BCSNo.	締りきめ	BFSNo.
25年次	478.8	57.6	7.8	2.4	74.0	6.0	3.8	3.9	3.0
26年次	483.8	58.6	7.9	2.4	74.1	6.4	3.8	4.0	3.0
27年次	485.0	59.2	7.9	2.4	74.1	6.7	3.7	4.1	2.9
28年次	490.8	60.8	8.0	2.4	74.3	6.9	3.7	4.2	2.9
29年次	498.9	62.5	8.0	2.5	74.5	7.1	3.7	4.2	2.9
30年次	504.0	63.4	8.1	2.5	74.5	7.3	3.7	4.3	2.9

注:1)胸面積=胸最長筋面積、皮下厚さ=皮下脂肪の厚さ、歩留値=歩留基準値、締りきめ=締まりきめの等級である。

2)この表は測定項目の平均値であるが、「締りきめ」のみは等級の平均である。

3)出荷県とは、出荷された方の所属する県のこと言う。

資料:公益社団法人 日本食肉格付協会 「牛枝肉、出荷県別格付結果情報」

## 2) 豚枝肉の格付状況

### 沖縄県

頭数 割合	極上	上	中	並	外	格付け頭数
						格付け割合
H26 年次	0 0.0%	98,435 31.8%	95,912 31.0%	82,184 26.5%	33,018 10.7%	309,549 100.0%
H27 年次	0 0.0%	98,702 33.4%	88,153 29.8%	76,353 25.8%	32,646 11.0%	295,854 100.0%
H28 年次	0 0.0%	102,306 33.3%	94,197 30.6%	76,209 24.8%	34,651 11.3%	307,363 100.0%
H29 年次	0 0.0%	109,275 34.4%	100,114 31.5%	79,001 24.9%	29,037 9.1%	317,427 100.0%
H30 年次	0 0.0%	113,581 34.5%	114,446 34.8%	77,756 23.6%	23,132 7.0%	328,915 100.0%

資料：(公財)沖縄県畜産振興公社：「と畜実績報告」

※「極上」は「上」に含まれる。

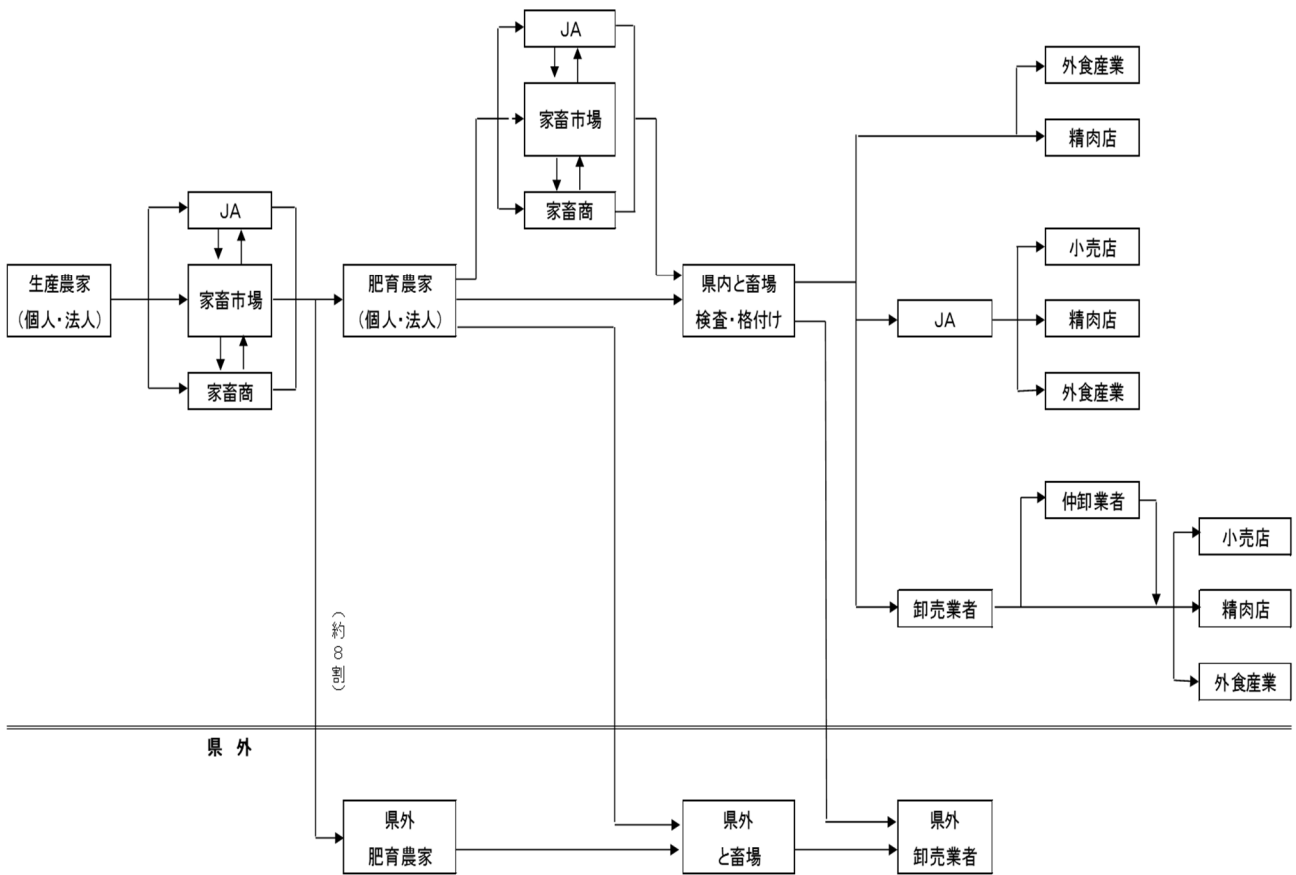
### 全国

頭数 割合	極上	上	中	並	外	格付け頭数
						格付け割合
H26 年次	14,190 0.1%	5,888,429 48.4%	4,025,640 33.1%	1,659,520 13.6%	582,465 4.8%	12,170,244 100.0%
H27 年次	19,702 0.2%	5,942,974 48.7%	4,038,403 33.1%	1,620,713 13.3%	582,993 4.8%	12,204,784 100.0%
H28 年次	22,440 0.2%	6,099,284 49.1%	4,113,169 33.1%	1,595,909 12.9%	580,723 4.7%	12,411,525 100.0%
H29 年次	24,926 0.2%	6,096,506 49.4%	4,134,391 33.5%	1,545,092 12.5%	551,950 4.5%	12,352,865 100.0%
H30 年次	22,745 0.2%	6,087,577 48.9%	4,227,227 33.9%	1,567,381 12.6%	553,938 4.4%	12,458,867 100.0%

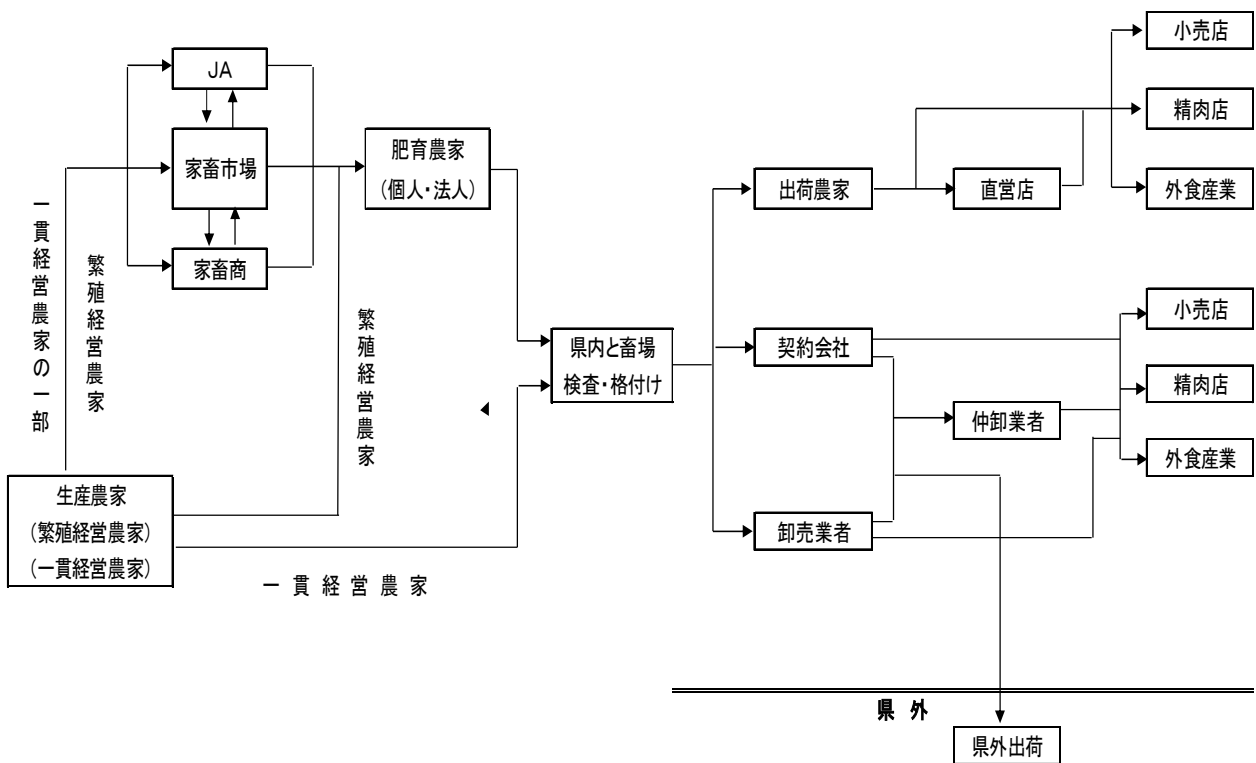
資料：(公社)日本食肉格付協会

## 6. 畜産物の流通

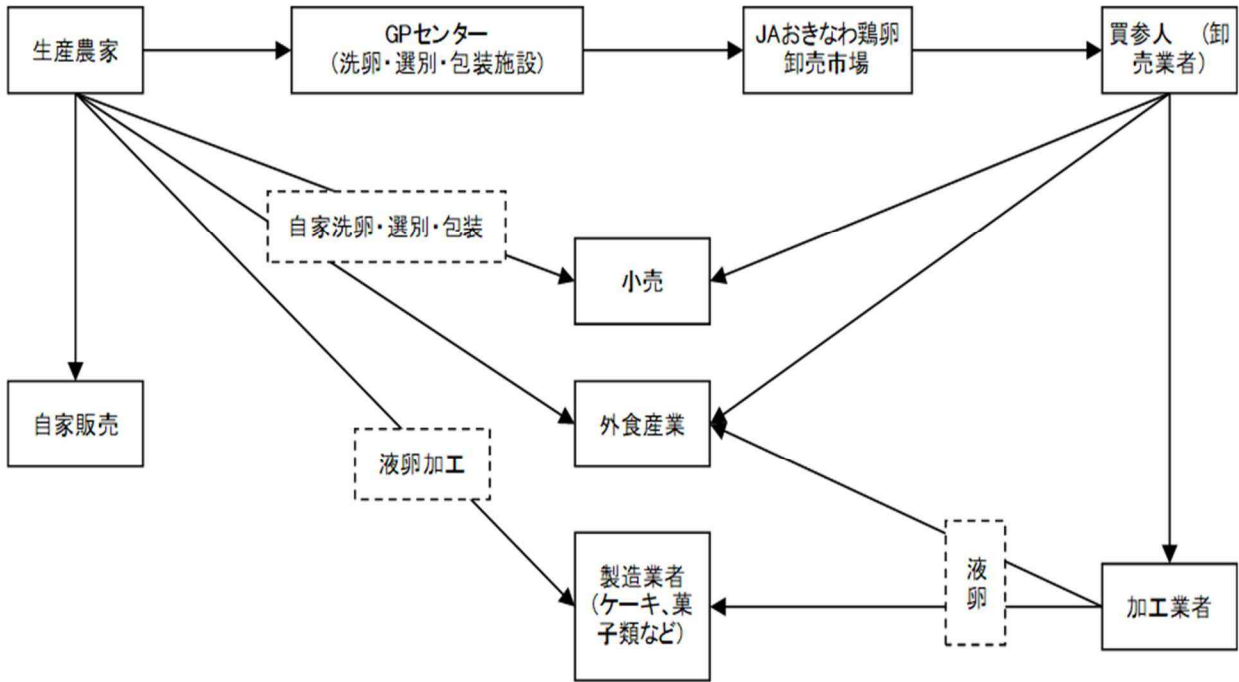
### (1) 牛肉



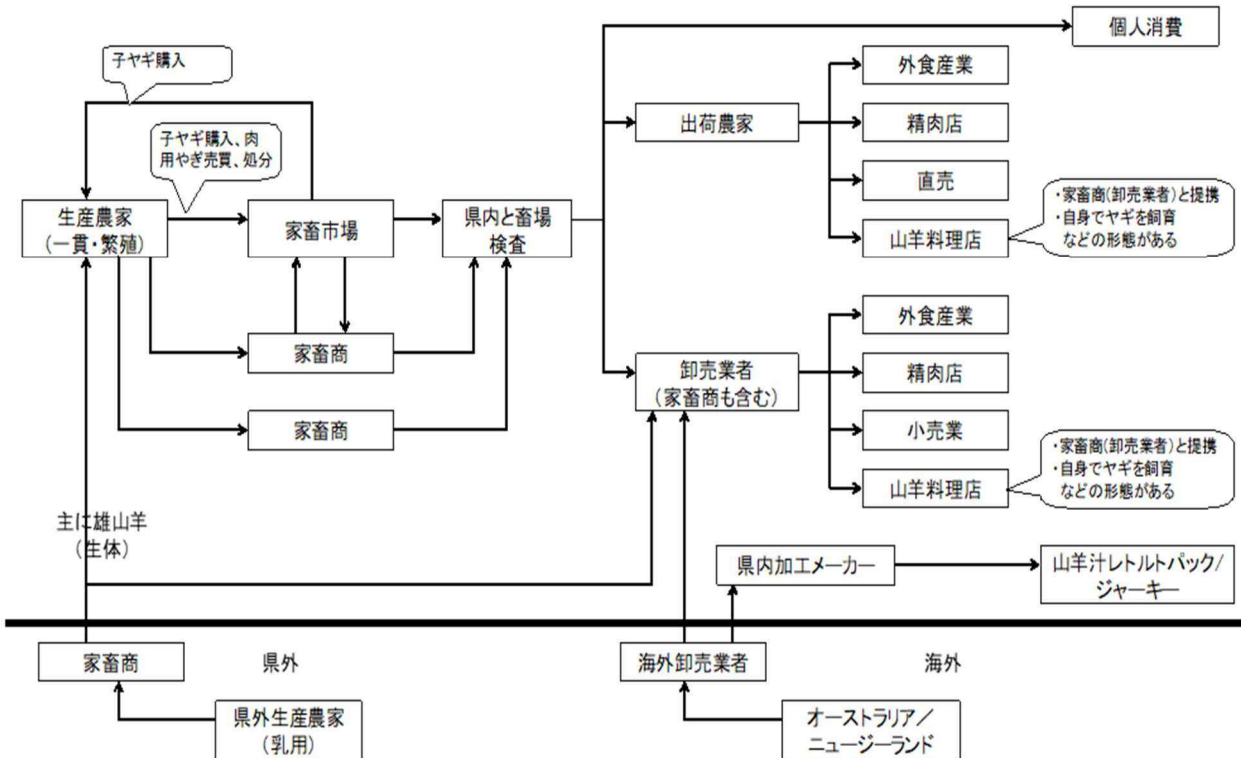
### (2) 豚肉



(3) 鶏卵



(4) 山羊肉



## 7. 生産量と輸入量

		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
年次		23	24	25	26	27	28	29	30
牛 肉	生産量 ( t )	1,741	1,729	1,882	1,826	1,582	1,655	1,842	-
	(正肉換算)	1,219	1,210	1,317	1,278	1,107	1,159	1,289	-
	輸入量 ( t )	1,742	1,910	1,893	2,079	1,953	1,735	1,394	1,431
	1世帯あたり購入数量(kg)	6.9	7.6	6.6	6.2	6.0	6.4	6.9	6.5
豚 肉	生産量 ( t )	27,507	27,341	26,086	24,808	23,683	24,769	25,336	-
	(正肉換算)	19,255	19,139	18,260	17,365	16,578	17,338	17,735	-
	輸入量 ( t )	479	832	2,010	3,853	4,278	6,271	6,148	6,077
	移出量 ( t ) ※ 年度集計	9,390	7,794	7,295	6,499	6,547	7,475	8,487	8,281
	1世帯あたり購入数量(kg)	18.4	19.9	18.4	19.4	19.1	20.1	20.4	19.6
鶏 肉	生産量 ( t )	5,386	5,247	5,297	5,810	-	-	-	-
	輸入量 ( t )	2,831	2,585	2,685	3,622	4,668	4,579	5,395	4,605
	1世帯あたり購入数量(kg)	12.2	13.7	13.6	13.0	13.5	11.9	13.4	13.5
鶏 卵	生産量 ( t )	24,094	24,275	22,036	18,932	19,850	19,640	18,461	18,518
	1世帯あたり購入数量(kg)	29.8	29.3	29.6	31.0	32.0	32.9	32.8	31.7

生産量：畜産物流通統計(牛、豚、鶏卵)(編集時、平成30年次統計未公表のため数値未掲載:令和元年7月24日時点)

鶏肉生産量: H26年次までは、農林水産省「食鳥流通統計」、H27年次から未公表値のため未掲載

正肉換算：生産量×70%

輸入量：財務省貿易統計 概況品別 統計品目表〔沖縄地区税関、2018年3月まで〕

1世帯あたり購入数量：家計調査 都道府県別購入数量(二人以上の世帯)

移出量：沖縄県食肉連絡協議会提供資料

注)

輸入量は沖縄地区税関を通過した量であり、他府県を経由して移入された分については不明。

移出量、移入量は流通構造の複雑化により把握が困難となっている。

## 8. 乳業工場一覧

名称	郵便番号	所在地	TEL
沖 縄 明 治 乳 業 ( 株 )	901-2502	浦添市牧港1-65-1	098-877-5274
沖 縄 森 永 乳 業 ( 株 )	903-0105	西原町字東4番15	098-871-9000
( 株 ) 宮 平 乳 業	901-0305	糸満市西崎町4-15-6	098-944-5558
( 有 ) EM 玉 城 牧 場 牛 乳	901-0611	南城市玉城富里552番地	098-852-6045
( 有 ) お っ ぱ 乳 業	905-0415	国頭郡今帰仁村玉城763	0980-56-5326
( 株 ) マ リ ヤ 乳 業	907-0023	石垣市字石垣192	0980-82-3450
( 株 ) 八 重 山 ゲ ン キ 乳 業	907-0004	石垣市字登野城909	0980-82-3452
合 資 会 社 宮 古 ゲ ン キ 乳 業	906-0012	宮古島市平良字西里880-3	0980-72-3885

## 9. 食鳥処理場の概要

設置年	名 称	所 在 地	電話番号	処理能力 (羽/日)
H4	(株)沖縄県鶏卵食鳥流通センター	うるま市字川田333	098-974-4877	3,000
R1	名 護 市 食 鳥 処 理 施 設	名護市字屋部1779	0980-51-0620	17,000

### Ⅲ 配合・混合飼料の流通





### Ⅲ 配合・混合飼料の流通

#### 1. 概 要

配合・混合飼料の県内流通量は平成12年度の298千トンをピークにその後減少傾向にあったが、平成18年度以降は増加傾向に転じた。平成30年度の流通量は約249千トンである。

平成30年度の流通量を畜種別にみると、豚用124千トン（県内流通量の50%）、採卵鶏用46千トン（同18%）、ブロイラー用17千トン（同7%）で豚と鶏で75%を占めている。また、肉牛用52千トン（同20%）、乳牛用は11千トン（同4%）である。

配合・混合飼料の流通量に占める県産品の割合は、平成元年度以降60%前半台で推移していたが、平成8年度に中城湾港新港地区に臨海型の配合飼料工場と穀物サイロを整備したことにより増加し平成14年度には74.8%を占めた。しかしその後は、牛用飼料の製造停止や養豚業の減少などで平成18年度には61.5%まで減少してきたが、19年度からは再び増加し、平成26年度には牛用配合飼料の製造が再開された事もあり、平成30年度には84.2%まで上昇している。

平成30年度の配合・混合飼料の県産品割合は、採卵鶏用で98%、ブロイラー用で100%、豚用で98%、乳牛用で5%、肉牛用で49%である。

原材料を輸入に依存している配合飼料の価格は、輸出国の作況状況や需給動向、国際的需給バランス等の影響を受けている。配合飼料の価格は、平成13年から上昇基調にあったが、平成18年10月期から急速に値上りし、平成20年10月期の価格は平成12年以前の約1.6倍になった。その要因として米国のエタノール向け供給の増加による輸出用トウモロコシの価格上昇や原油価格の値上げによる輸送料金の上昇などがあげられている。平成23年にもやや上昇し、平成24年10月には、アメリカの大干ばつでとうもろこし価格が高騰した影響を受け、配合飼料価格が高騰している。平成25年は、大豆油かす価格の高止まり、為替相場の円安進展により配合飼料価格の高騰に影響を及ぼし、以前として高止まり傾向にある。

沖縄県の配合飼料の製造基盤の現状としては、平成25年度には県産鶏・豚用のクランブル飼料製造施設が稼働した。また、乳牛用及び肉牛用配合飼料についても、平成17年4月以降は全量に移入に依存していたが、平成24年度から平成25年度にかけて牛専用配合飼料工場の整備が進められ、平成26年4月に県内で牛用配合飼料の製造が再開された。

2. 配合・混合飼料の流通量の推移

(トン)

種類	年度(平成)												
	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
採卵鶏用	県産品	47,579	44,752	45,833	47,387	48,317	48,572	47,493	47,517	47,779	46,788	45,759	44,750
	移入品	2,310	1,889	1,605	1,426	1,149	949	977	997	982	945	840	800
	計	53,398	46,641	47,438	48,813	49,466	49,521	48,470	48,514	48,761	47,733	46,599	45,550
ブロイラー用	県産品	16,917	16,849	16,831	16,749	15,812	14,764	14,696	15,742	15,826	15,793	16,219	16,973
	移入品	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	16,917	16,853	16,831	16,749	15,812	14,764	14,696	15,742	15,826	15,793	16,219	16,973
豚用	県産品	82,889	107,992	118,121	137,249	139,717	132,632	123,027	113,657	121,193	122,748	126,641	122,046
	移入品	36,580	18,888	17,450	13,271	13,681	12,784	11,842	10,674	10,723	8,993	2,627	2,404
	計	119,469	126,880	135,571	150,520	153,398	145,416	134,869	124,331	131,916	131,741	129,268	124,450
乳牛用	県産品	0	0	0	0	0	0	0	580	958	641	619	525
	移入品	14,512	13,901	13,165	12,819	13,222	12,486	12,484	10,671	10,614	10,419	10,003	10,024
	計	14,512	13,901	13,165	12,819	13,222	12,486	12,484	11,251	11,572	11,060	10,622	10,549
肉牛用	県産品	0	0	0	0	0	0	0	18,704	22,097	23,968	25,376	25,465
	移入品	38,104	40,195	43,918	46,921	48,333	43,384	41,927	23,833	23,295	24,418	25,720	26,223
	計	38,104	40,195	43,918	46,921	48,333	43,384	41,927	42,537	45,392	48,386	51,096	51,688
その他の家畜用	県産品	14	0	0	0	0	0	0	89	143	208	287	259
	移入品	83	84	67	66	70	73	70	4	0	0	0	0
	計	97	84	67	66	70	73	70	93	143	208	287	259
合計	県産品	149,196	172,420	179,704	199,831	202,916	195,968	185,216	196,289	207,996	210,146	214,901	210,018
	移入品	93,301	75,382	76,489	74,682	76,732	69,676	67,300	46,179	45,614	44,775	39,190	39,451
	計	242,497	247,802	256,193	274,513	279,648	265,644	252,516	242,468	253,610	254,921	254,091	249,469
県産比率(%)	61.5	69.6	70.1	72.8	72.6	73.8	73.3	81.0	82.0	82.4	84.6	84.2	

3. 配合飼料流通価格の推移(県内主要銘柄、本島価格)

バラ物 単位：円/t

年・月	用途	採卵鶏用	ブロイラー用 (後期)	肉豚後期用	乳牛用	肉牛用
	平成 20	1	52,800	69,000	52,800	56,400
4		57,700	74,300	58,600	60,900	62,600
7		59,700	76,400	60,300	62,600	63,800
10		63,100	80,600	62,900	65,400	65,500
21	1	50,000	66,000	48,900	53,700	53,700
	4	46,000	61,000	44,800	50,000	49,400
	7	49,500	64,200	47,500	52,900	51,800
	10	47,900	62,500	45,900	51,400	50,700
22	1	47,300	61,600	45,500	50,600	50,200
	4	46,100	60,200	44,700	49,600	49,500
	7	46,100	60,200	44,700	49,600	49,500
	10	46,100	60,200	44,700	49,600	49,500
23	1	49,200	64,200	48,900	52,100	51,500
	4	51,000	66,700	51,400	54,000	53,500
	7	52,500	68,200	52,800	55,000	54,800
	10	49,900	65,700	51,700	54,000	53,800
24	1	46,800	62,400	48,500	51,500	51,200
	4	47,800	63,300	49,500	52,700	52,300
	7	49,100	64,900	50,000	56,300	53,000
	10	54,180	70,110	54,070	61,200	56,950
25	1	53,930	69,950	53,550	61,200	59,950
	4	57,530	72,970	58,020	64,580	60,540
	7	58,820	74,320	58,850	66,190	61,940
	10	57,150	72,740	55,370	63,180	59,760
26	1	56,940	72,940	55,160	62,970	59,420
	4	58,540	74,660	57,040	62,350	58,200
	7	58,280	75,440	57,400	62,710	58,410
	10	57,250	73,460	55,740	59,590	57,520
27	1	58,490	75,280	56,570	62,090	60,230
	4	59,210	75,020	57,240	62,610	59,190
	7	57,360	69,150	55,480	60,840	57,730
	10	57,360	69,150	55,480	60,840	57,730
28	1	56,020	66,920	54,020	59,280	57,180
	4	53,230	63,590	51,940	56,370	53,890
	7	59,216	70,642	56,494	61,668	58,201
	10	57,326	68,115	54,583	60,544	56,581
29	1	57,326	68,115	54,583	60,544	56,851
	4	60,717	71,593	58,676	63,298	59,659
	7	59,497	69,962	57,553	62,110	58,924
	10	58,050	67,888	55,933	60,825	57,920
30	1	59,886	69,854	56,991	62,737	59,713
	4	62,726	73,051	59,853	65,145	62,121
	7	64,508	74,509	61,430	66,657	62,683
	10	62,445	71,366	57,780	64,076	60,793



# IV 草 地 開 発



## IV 草地開発（自給飼料）

### 1. 概要

沖縄県は、我国唯一の亜熱帯地域に位置し、周年温暖な気候であることから、牧草等粗飼料の生産において有利な環境下にあり、肉用牛等大家畜畜産経営が期待される。しかしながら、本県の畜産は、未だ生産基盤が脆弱であり、さらに、近年の肉用牛及び乳用牛経営をとりまく環境は、T P P ・ E P A の締結による競争の激化や飼料高止まりによる経営の悪化など、一層厳しさを増している。

このため、自給飼料生産によるコスト低減と農家所得の向上を図ることが必須であると捉え、飼料生産基盤の整備を推進し、草地の開発整備を各種事業（団体営草地開発整備事業：S 4 7 ～ H 1 3，公共育成牧場整備事業：S 4 7 ～ S 5 6，農業公社牧場設置事業：S 5 0 ～ H 5，畜産基盤再編総合整備事業：H 5 ～ H 1 5）を導入し、北部地域、中南部地域、宮古地域、八重山地域で実施してきた。

平成 1 6 年度からは、自給飼料の増産を通じた飼料自給率の向上を図るとともに、担い手の育成を通じた望ましい畜産構造の確立に資するため、「畜産担い手育成総合整備事業（再編整備型）」を導入し、草地造成整備事業や牛舎等の農業用施設整備事業及び農機具等導入事業を実施している。平成 3 0 年度は久米島第三地区（久米島：H 2 6 ～ R 1）、竹富月桃（サミン）地区（竹富町黒島：H 2 9 ～ R 2）、竹富美ら島（ちゅらしま）地区（竹富町小浜島、西表島：H 3 0 ～ R 3）で事業を実施しているところであり、本県の草地開発面積は平成 2 9 年度までに約 5, 4 8 6 h a が整備されている。

今後は、未墾地、遊休地等の造成改良、生産性の低い草地等の再整備、既耕地への飼料作物の導入等、合理的な土地利用を推進する。

## 2. 飼料作物の作付状況

### (1) 飼料作物の地域別作付面積の推移

(単位：ha、( )は構成比)

地域 年次	北部		中部		南部		宮古		八重山		計	
	面積	(%)	面積	(%)	面積	(%)	面積	(%)	面積	(%)	面積	(%)
平成7	684	(14.7)	139	(3.0)	384	(8.2)	756	(16.2)	2,701	(57.9)	4,664	(100.0)
8	683	(14.3)	140	(2.9)	371	(7.8)	765	(16.0)	2,809	(58.9)	4,768	(100.0)
9	696	(14.1)	140	(2.8)	404	(8.2)	880	(17.8)	2,827	(57.1)	4,947	(100.0)
10	737	(14.7)	151	(3.0)	407	(8.1)	898	(17.9)	2,837	(56.4)	5,030	(100.0)
11	781	(14.4)	159	(2.9)	416	(7.7)	1,028	(18.9)	3,043	(56.1)	5,427	(100.0)
12	796	(14.6)	160	(2.9)	421	(7.7)	1,026	(18.9)	3,038	(55.8)	5,441	(100.0)
13	821	(15.0)	169	(3.1)	436	(8.0)	1,066	(19.5)	2,981	(54.5)	5,473	(100.0)
14	808	(14.9)	158	(2.9)	465	(8.6)	1,067	(19.6)	2,935	(54.0)	5,433	(100.0)
15	813	(15.0)	165	(3.0)	442	(8.2)	1,059	(19.5)	2,940	(54.3)	5,419	(100.0)
16	836	(15.2)	175	(3.2)	520	(9.4)	1,103	(20.0)	2,871	(52.2)	5,505	(100.0)
17	870	(15.3)	177	(3.1)	541	(9.5)	1,146	(20.1)	2,963	(52.0)	5,697	(100.0)
18	875	(15.4)	170	(3.0)	573	(10.1)	1,190	(20.9)	2,883	(50.7)	5,691	(100.0)
19	882	(15.6)	158	(2.8)	590	(10.4)	1,131	(20.0)	2,888	(51.1)	5,649	(100.0)
20	913	(15.7)	232	(4.0)	584	(10.1)	1,180	(20.3)	2,892	(49.9)	5,801	(100.0)
21	913	(15.6)	219	(3.7)	591	(10.1)	1,161	(19.8)	2,982	(50.8)	5,866	(100.0)
22	923	(15.8)	214	(3.7)	595	(10.2)	1,150	(19.7)	2,944	(50.5)	5,826	(100.0)
23	941	(17.1)	214	(3.9)	589	(10.7)	1,082	(19.7)	2,670	(48.6)	5,496	(100.0)
24	930	(16.4)	218	(3.8)	559	(9.9)	1,081	(19.1)	2,877	(50.8)	5,665	(100.0)
25	901	(16.1)	224	(4.0)	574	(10.3)	1,071	(19.2)	2,810	(50.4)	5,580	(100.0)
26	916	(16.4)	227	(4.1)	583	(10.4)	1,097	(19.6)	2,767	(49.5)	5,590	(100.0)
27	830	(15.0)	233	(4.2)	579	(10.5)	1,113	(20.1)	2,780	(50.2)	5,535	(100.0)
28	893	(15.9)	230	(4.1)	598	(10.6)	1,120	(19.9)	2,783	(49.5)	5,624	(100.0)
29	951	(16.8)	229	(4.1)	619	(10.9)	1,110	(19.6)	2,744	(48.5)	5,653	(100.0)
30	964	(17.1)	237	(4.2)	622	(11.0)	1,068	(18.9)	2,747	(48.7)	5,638	(100.0)



## (2) 飼料作物の種類別作付面積の推移

(単位：ha、( )は構成比)

種類 年次	ネピアグラス		ローズグラス		パンゴラグラス (トランスパー、A24)		ギニアグラス (ガット、ナツエカ)		ジャイアント スターグラス		その他		計	
	面積	(%)	面積	(%)	面積	(%)	面積	(%)	面積	(%)	面積	(%)	面積	(%)
平成7	179	(3.8)	1,840	(39.5)	877	(18.8)	715	(15.3)	746	(16.0)	307	(6.6)	4,664	(100.0)
8	166	(3.5)	1,918	(40.2)	883	(18.5)	743	(15.6)	789	(16.5)	269	(5.6)	4,768	(100.0)
9	157	(3.2)	2,069	(41.8)	861	(17.4)	789	(15.9)	809	(16.4)	262	(5.3)	4,947	(100.0)
10	165	(3.3)	2,141	(42.6)	773	(15.4)	936	(18.6)	822	(16.3)	193	(3.8)	5,030	(100.0)
11	124	(2.3)	2,396	(44.1)	794	(14.6)	1,000	(18.4)	922	(17.0)	191	(3.5)	5,427	(100.0)
12	124	(2.3)	2,429	(44.6)	806	(14.8)	1,016	(18.7)	914	(16.8)	152	(2.8)	5,441	(100.0)
13	121	(2.2)	2,446	(44.7)	758	(13.8)	1,118	(20.4)	852	(15.6)	178	(3.3)	5,473	(100.0)
14	121	(2.2)	2,326	(42.8)	686	(12.6)	1,172	(21.6)	894	(16.5)	235	(4.3)	5,433	(100.0)
15	107	(2.0)	2,309	(42.6)	767	(14.2)	1,283	(23.7)	797	(14.7)	157	(2.9)	5,419	(100.0)
16	100	(1.8)	2,285	(41.5)	817	(14.8)	1,274	(23.1)	885	(16.1)	145	(2.6)	5,505	(100.0)
17	96	(1.7)	2,401	(42.1)	854	(15.0)	1,286	(22.6)	902	(15.8)	157	(2.8)	5,697	(100.0)
18	112	(2.0)	2,345	(41.2)	851	(15.0)	1,358	(23.9)	879	(15.4)	145	(2.5)	5,691	(100.0)
19	101	(1.8)	2,287	(40.5)	927	(16.4)	1,273	(22.5)	919	(16.3)	142	(2.5)	5,649	(100.0)
20	105	(1.8)	2,304	(39.7)	986	(17.0)	1,327	(22.9)	906	(15.6)	173	(3.0)	5,801	(100.0)
21	83	(1.4)	2,310	(39.4)	1,075	(18.3)	1,288	(22.0)	955	(16.3)	156	(2.7)	5,866	(100.0)
22	99	(1.7)	2,259	(38.8)	1,120	(19.2)	1,281	(22.0)	899	(15.4)	168	(2.9)	5,826	(100.0)
23	92	(1.6)	2,194	(37.9)	1,184	(20.4)	1,241	(21.4)	922	(15.9)	163	(2.8)	5,796	(100.0)
24	80	(1.4)	2,136	(37.7)	1,251	(22.1)	1,186	(20.9)	859	(15.2)	153	(2.7)	5,665	(100.0)
25	56	(1.0)	2,131	(38.2)	1,249	(22.4)	1,149	(20.6)	826	(14.8)	169	(3.0)	5,580	(100.0)
26	56	(1.0)	2,091	(37.4)	1,304	(23.3)	1,150	(20.6)	817	(14.6)	172	(3.1)	5,590	(100.0)
27	50	(0.9)	2,103	(38.0)	1,293	(23.4)	1,131	(20.4)	793	(14.3)	165	(3.0)	5,535	(100.0)
28	36	(0.6)	2,214	(39.4)	1,312	(23.3)	1,090	(19.4)	785	(14.0)	187	(3.3)	5,624	(100.0)
29	34	(0.6)	2,293	(40.6)	1,372	(24.3)	998	(17.7)	746	(13.2)	210	(3.7)	5,653	(100.0)
30	35	(0.6)	2,223	(39.4)	1,453	(25.8)	983	(17.4)	728	(12.9)	216	(3.8)	5,638	(100.0)



# V 畜産基盤の整備



# V 畜産基盤の整備

## 1. 概要

- (1) 畜産基地建設事業は、改正前の農用地開発公団法に基づき畜産物の安定的供給と畜産経営の合理化を図ることを目的として、開発して農用地とすることの適切な未利用、低位利用の山林原野を畜産的利用を目的に開発し、畜産経営に必要な採草地、農業用施設、農機具等を一体的に整備し、畜産物の濃密生産団地を建設する事業である。
- (2) 本県における畜産基地建設事業は、昭和51年度に始まり平成4年度をもって7区域すべてが完了しており、国75パーセントの高率補助が適用され、北部地域、八重山地域の山林原野の有効活用のモデル事例となり、地域開発に一定の役割を果たしている。事業全体の事業費はおおむね338億円、新たに造成した草地は平成4年度末現在で1,589ヘクタール、創設された畜産経営体は151戸（公社、農業生産法人等を含む）である。
- (3) 肉用牛は奨励作目であり、また近年、家畜の排せつ物による環境汚染が社会問題となっていることから、地力保全を図る畜種複合型の畜産基地建設事業は、社会的ニーズに対処した事業でもあり、大家畜と中小家畜を有機的に結合した土地利用型の草地畜産経営体を創設する当該事業は、本県の自然的特性に適した事業となっている。
- (4) 豊富な太陽エネルギーに恵まれ、牧草の高位生産が期待でき、かつ令和7年度までに肉用牛82,107頭の増頭目標をもっている本県としては、飼料基盤の拡大が求められている。そのため、畜産基地建設事業に引き続き、平成5年度からは、畜産基盤再編総合整備事業・畜産担い手育成総合整備事業を実施しており、今後とも生産基盤の整備を図っていく。
- (5) 自給飼料増産事業関係では、各地域での効率的な飼料生産や粗飼料増産を目的に放牧地整備や優良品種を用いた採草地整備、共同利用の農機具導入等を行ってきた。また、畜産活性化事業では、飼養頭数の拡大等に対応するため、共同利用の肉用牛繁殖牛舎の建設等による生産基盤の整備が行われてきた。
- (6) 平成25年度以降は、沖縄振興特別推進交付金を活用し、共同利用による農業機械や農機具庫等の整備を行っており、飼料生産基盤の充実を図っている。

2. 沖縄県における畜産基地建設事業の実績

区域名	年度		51	52	53	54	55	56	57	58	59	63	62	61	60	H1	2	3	4	計	主要事業	参加農家	団地別面積 (ha)	事業費 (千円)	家畜別飼養頭数 (目標)
	51	52																							
石垣第一	達成面積 (ha)		159.3	91.9	40.0															291.2	草地造成 33棟 農舎 農機具 家畜	9 2 2 1 14	104 香島白保団地 大濱団地 名護団地 計	3,270,200 (3,007,600) 豚 ※ 75% 15% 2.5% 7.5% 県 石垣市 受益者	肉用牛 3024頭 1,676頭
	事業費 (百万円)		1,046	1,320	724															3,270	草地造成 66棟 農機具 家畜	19	40 伊都団地 楚洲団地 計	4,309,259 (4,115,350) 豚 ※ 75% 15% 5% 5% 県 石垣市 受益者	肉用牛 1,480頭 9,296頭
	達成面積 (ha)					79.2	81.4	76.3	53.3												290.2	草地造成 52棟 農機具 家畜	9 10	90 北都団地 野底団地 崎枝団地 1南部団地 計	7,425,376 (7,163,134) 豚 ※ 75% 15% 2.5% 7.5% 県 石垣市 受益者
石垣第二	事業費 (百万円)					35	1,879	2,158	1,778	1,575										7,425	草地造成 176ha 53棟 農機具 家畜	15 16	81 111 52 118 33 計	7,285,362 (7,240,334) 豚 ※ 75% 15% 5% 0% 0% 県 石垣市 大宜味村 大宜味村 受益者	肉用牛 1,863頭 47頭 12,136頭
	達成面積 (ha)																			250.3	草地造成 19棟 農機具 家畜	15 3 1 19	92 石垣市 竹富町 計	4,538,567 (4,469,067) 豚 ※ 75% 15% 10% 県 受益者	肉用牛 2,031頭 1,874頭 20,210羽
	事業費 (百万円)																			4,539.0	草地造成 193ha 29棟 農機具 家畜	29 2 2 2 35	72 2 49 88 12 計	3,746,000 (3,379,934) 豚 ※ 75% 15% 10% 県 受益者	肉用牛 2,453頭 419頭 33頭
与那国	事業費 (百万円)																			3,746.0	草地造成 4棟 農機具 家畜	19 3 1 2 26	138 114 54 19 8 計	3,190,000 (3,190,000) 豚 ※ 75% 15% 10% 県 受益者	肉用牛 2,945頭 690頭
	達成面積 (ha)																			238.3	草地造成 118台 0頭	19 3 1 2 26	138 114 54 19 8 計	3,190,000 (3,190,000) 豚 ※ 75% 15% 10% 県 受益者	肉用牛 2,945頭 690頭
	事業費 (百万円)																			3,190.0	草地造成 1,569ha 255棟 農機具 家畜	115 20 7 1 8 151	2,284 計	33,785,128 (32,925,419) 豚 ※ 75% 15% 5% 5% 0~5% 5~10% 県 市町村 受益者	肉用牛 17,102頭 365頭 32,340頭 68,038頭 33頭
八重山第二	達成面積 (ha)																			1,589.0	草地造成 1,264台 2,069頭	115 20 7 1 8 151	2,284 計	33,785,128 (32,925,419) 豚 ※ 75% 15% 5% 5% 0~5% 5~10% 県 市町村 受益者	肉用牛 17,102頭 365頭 32,340頭 68,038頭 33頭
	事業費 (百万円)																			1,589.0	草地造成 1,264台 2,069頭	115 20 7 1 8 151	2,284 計	33,785,128 (32,925,419) 豚 ※ 75% 15% 5% 5% 0~5% 5~10% 県 市町村 受益者	肉用牛 17,102頭 365頭 32,340頭 68,038頭 33頭
	達成面積 (ha)																			1,589.0	草地造成 1,264台 2,069頭	115 20 7 1 8 151	2,284 計	33,785,128 (32,925,419) 豚 ※ 75% 15% 5% 5% 0~5% 5~10% 県 市町村 受益者	肉用牛 17,102頭 365頭 32,340頭 68,038頭 33頭
合計	達成面積 (ha)																			33,784.0	草地造成 1,264台 2,069頭	115 20 7 1 8 151	2,284 計	33,785,128 (32,925,419) 豚 ※ 75% 15% 5% 5% 0~5% 5~10% 県 市町村 受益者	肉用牛 17,102頭 365頭 32,340頭 68,038頭 33頭

※( )は家畜導入を除く。

### 3. 畜産基盤再編総合整備事業・畜産担い手育成総合整備事業(再編整備型)

農用地整備公団による畜産基地建設事業が平成4年度で終了したことに伴い、なお脆弱な生産基盤である本県畜産の状況に鑑み、経営に必要な草地造成整備や畜舎施設整備及び農機具導入等を行い、畜産物の安定供給と経営の合理化を図るため、平成5年度から(財)沖縄県農業開発公社【現：(公財)沖縄県農業振興公社】を事業主体として畜産基盤再編総合整備事業を実施しています。

平成16年度以降は、担い手施策の集中化・重点化を図り、担い手の育成を通じた望ましい畜産構造の確立に資するために事業制度の改編が行われ、畜産担い手育成総合整備事業(再編整備型)へ移行しました。

平成5年度から平成29年度までに15地区が整備完了し、草地面積の増加とともに肉用牛の飼養頭数が増加するなど、経営規模の拡大とともに効率的な経営体の育成が図られています。平成30年度は久米島第三地区、竹富月桃(サミン)地区、及び竹富美ら島(ちゅらしま)地区において整備を実施しています。

畜産基盤再編総合整備事業 | 畜産担い手育成総合整備事業(再編整備型) 完了地区

地区名	事業期間	事業費 (千円)	草地造成 改良(ha)	草地整備 改良(ha)	施設用地 造成(ha)	雑用水 施設(ヶ所)	障害物 (m)	畜舎 (棟)	監視舎 (棟)	採食場 (棟)	パドック (ヶ所)	乾草庫 (棟)	農具庫 (棟)	堆肥舎 (棟)	飼料貯蔵 施設(棟)	家畜市場 (棟)	食肉加工 施設(棟)	農機具 導入(点)
竹富町第一地区	H5~H9	1,392,224	111.35	-	2.38	18	42,117	17	-	-	10	-	4	2	17	-	-	41
北部第一地区	H6~H10	2,687,974	17.24	-	3.75	4	-	14	1	-	-	-	4	5	2	-	-	39
ばいぬしま地区	H9~H12	1,456,197	51.89	1.88	3.31	18	18,740	21	-	8	-	-	9	20	19	-	-	86
竹富町第二地区	H10~H13	1,550,353	106.50	11.37	3.99	19	37,251	19	-	12	-	-	7	18	12	-	-	51
宮古第一地区	H12~H15	1,230,420	55.73	8.39	2.69	17	15,258	-	-	18	-	-	4	18	11	-	-	56
本島南部地区	H13~H16	1,638,557	31.05	-	1.40	10	4,631	-	-	10	-	3	5	10	-	-	1	62
久米島第一地区	H14~H16	884,066	28.29	-	2.50	6	-	8	-	-	-	5	3	8	-	1	-	43
ばいぬしま第二地区	H15~H18	1,749,702	89.22	-	3.10	15	20,785	12	-	13	-	11	8	20	-	1	-	79
久米島第二地区	H16~H18	874,114	34.70	-	2.31	12	-	12	-	-	-	7	5	17	-	-	-	60
宮古第二地区	H17~H20	989,479	41.19	2.00	1.67	15	4,566	15	-	-	-	4	6	18	-	-	-	66
ばいぬしま第三地区	H19~H21	969,365	27.37	52.84	1.98	13	20,445	12	-	13	-	7	-	12	-	-	-	-
沖縄南部地区	H19~H22	1,824,894	28.90	-	4.32	14	-	14	-	-	-	14	8	12	-	1	-	68
北部第二地区	H20~H24	1,156,331	19.39	6.64	3.53	13	3,415	13	-	-	-	9	3	11	-	-	-	23
宮古第三地区	H21~H25	641,948	28.48	2.66	0.11	9	29.00	9	-	-	-	2	1	8	-	-	-	6
やいま地区	H25~H28	533,014	45.75	16.12	-	-	6.18	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	12
合 計		19,578,638	717.05	101.90	37.04	183	167,243	168	1	74	10	62	67	180	61	3	1	692

畜産担い手育成総合整備事業(再編整備型) 実施地区

地区名	事業期間	事業費 (千円)	草地造成 (ha)	草地整備 改良(ha)	施設用地 造成(ha)	雑用水 施設(ヶ所)	障害物 (m)	畜舎 (棟)	監視舎 (棟)	採食場 (棟)	パドック (ヶ所)	乾草庫 (棟)	農具庫 (棟)	堆肥舎 (棟)	飼料貯蔵 施設(棟)	家畜市場 (棟)	食肉加工 施設(棟)	農機具 導入(点)
久米島第三地区	H26~R1	848,662	12.28	4.43	0.37	7	-	7	-	-	-	9	-	10	-	-	-	-
竹雷月桃(サミン)地区	H29~R2	823,334	20.65	9.26	0.72	7	12,202	5	-	2	-	-	2	7	-	-	-	14
竹富美ら島(ちゆらしま)地区	H30~R3	680,111	13.87	10.88	0.68	7	9,007	6	-	1	-	-	2	7	-	-	-	15



4. 補助事業による共同利用牛舎の整備状況

事業名	実施年度	市町村	事業主体名	事業概要	事業費 (国県補助金)
畜産経営活性化事業	H12	糸満市	農業生産法人(有)志茂畜産	繁殖牛舎 1,071㎡ (1棟) 100頭規模	66,894 (46,825)
	13	伊江村	マイザク原畜産組合	繁殖牛舎 1,326㎡ (1棟) 100頭規模	76,146 (53,286)
	15	旧:城辺町 (宮古島市)	もより肉用牛生産組合	繁殖牛舎 816㎡ (1棟) 60頭規模	41,790 (29,252)
	16	旧:城辺町 (宮古島市)	東山ファーム	繁殖牛舎 816㎡ (1棟) 60頭規模	40,283 (28,193)

5. 自給飼料(飼料増産)関係補助事業

事業名	実施年度	市町村	地区名	事業主体名	事業概要	事業費(国県補助金)
自給飼料増産総合対策事業 (高生産性飼料生産体制確立対策)	13	糸満市		東里飼料生産組合	トラクター、他5点	16,380 (8,190)
自給飼料増産総合対策事業 (高生産性飼料生産体制確立対策)	13	伊江村		西崎畜産組合	トラクター、他7点	21,885 (10,942)
自給飼料増産総合対策事業 (日本型放牧実践対策)	13	竹富町	竹富島	竹富放牧生産組合	簡易造成整備(9.29ha)	13,010 (6,500)
自給飼料増産総合対策事業 (高生産性飼料生産体制確立対策)	15	国頭村	辺野喜	辺野喜和牛生産組合	トラクター、他7点	19,299 (13,508)
自給飼料増産総合対策事業 (高生産性飼料生産体制確立対策)	15	東風平町		東風平町北部飼料生産組合	トラクター、他6点	18,035 (12,624)
自給飼料増産総合対策事業 (日本型放牧拡大対策)	15	竹富町	竹富	竹富放牧推進組合	簡易造成整備(7.0ha)	9,804 (4,900)
自給飼料増産総合対策事業 (技術実証促進型)	15	竹富町	小浜	竹富町	トランスバースによる飼料増産技術実証(5.1ha)	932 (433)
自給飼料増産総合対策事業 (技術実証促進型)	15	石垣市		石垣市	トランスバースによる飼料増産技術実証(3.0ha)	549 (255)
自給飼料増産総合対策事業 (技術実証促進型)	15	宜野座村		宜野座村	トランスバースによる飼料増産技術実証(5.3ha)	940 (450)
自給飼料増産総合対策事業 (高生産性飼料生産体制確立対策)	16	宮古島市 (城辺)	砂川地区	もより肉用牛生産組合	トラクター、他7点	21,420 (11,424)
自給飼料増産総合対策事業 (高生産性飼料生産体制確立対策)	16	久米島町	鳥島	鳥島飼料作機械利用組合	トラクター、他6点	15,750 (8,400)
自給飼料増産総合対策事業 (技術実証促進型)	16	本部町	崎本部	本部町	トランスバースによる飼料増産技術実証(1.9ha)	325 (162)
自給飼料増産総合対策事業 (技術実証促進型)	16	今帰仁村		今帰仁村	トランスバースによる飼料増産技術実証(4.1ha)	714 (348)
産地競争力の強化に向けた総合的推進 (飼料増産)	17	竹富町	竹富	竹富放牧利用組合	放牧利用条件整備(12.3ha)	17,226 (8,610)
産地競争力の強化に向けた総合的推進 (飼料増産)	17	竹富町	黒島	黒島保里牧野組合	放牧利用条件整備(5.7ha)	8,000 (3,990)
産地競争力の強化に向けた総合的推進 (飼料増産)	17	伊江村		沖縄県農業協同組合	TMRミキサー、他7点	18,973 (8,790)

6. 自給飼料(飼料増産)関係交付金事業

		(単位:千円)			
事業名	実施年度	市町村	事業主体名	事業概要	事業費 (国県補助金)
肉用牛生産振興特別対策事業	28	久米島町	真我里飼料生産組合	トラクター等8点、農具庫1棟	26,676 (22,229)
肉用牛生産振興特別対策事業	28	久米島町	久米島町	ホイロローダー1点	3,650 (3,041)
肉用牛生産振興特別対策事業	28	宮古島市	mow畜産機械利用組合	トラクター等8点、農具庫1棟	29,962 (24,968)
肉用牛生産振興特別対策事業	28	宮古島市	増原生産組合	ロールペラー等2点	4,370 (3,641)
肉用牛生産振興特別対策事業	28	多良間村	南原生産組合	トラクター等6点	17,100 (14,250)
自給型畜産経営飼料生産普及推進事業	28	今帰仁村	畜産研究センター	ケーングラス種苗圃整備(0.63ha)	— (—)
自給型畜産経営飼料生産普及推進事業	28	石垣市	八重山家畜保健衛生所	ケーングラス種苗圃整備(0.6ha)	— (—)
肉用牛生産振興特別対策事業	29	糸満市	志茂畜産	トラクター等4点	19,850 (16,541)
肉用牛生産振興特別対策事業	29	糸満市	糸満市	ホイロローダー1点	4,850 (4,041)
肉用牛生産振興特別対策事業	29	石垣市	島尻畜産	トラクター等5点	18,118 (15,098)
自給型畜産経営飼料生産普及推進事業	29	八重瀬町	八重瀬町畜産農家	長大飼料作付(0.3ha)	30 (24)
自給型畜産経営飼料生産普及推進事業	29	石垣市	88牧場	長大飼料作付(1.95ha)	711 (640)
自給型畜産経営飼料生産普及推進事業	29	今帰仁村	畜産研究センター	ケーングラス種苗圃整備(0.37ha)	— (—)
自給型畜産経営飼料生産普及推進事業	29	石垣市	八重山家畜保健衛生所	ケーングラス種苗圃整備(0.4ha)	— (—)
肉用牛生産振興特別対策事業	30	伊江村	カネクラ飼料生産組合	トラクター等5点	24,570 (20,475)
肉用牛生産振興特別対策事業	30	竹富町	南の牛生産組合	トラクター等6点、農具庫1棟	26,141 (21,784)
自給型畜産経営飼料生産普及推進事業	30	東村	有限会社沖縄北斗	長大飼料作付(2.9ha)	997 (725)



# VI 畜産経営



## VI 畜 産 経 営

### 1. 概 要

本県の畜産は、昭和40年代は小規模農家がほとんどで、農業粗生産額の30%を畜産が産出し、その大部分を養豚が占めていた。

昭和47年（1972年）5月15日の本土復帰後、県は肉用牛生産効率化事業（地域畜産再編対策事業）、養豚団地育成パイロット事業、地方競馬全国協会による地域畜産振興事業等による共同利用施設整備を実施し、中核的畜産農家の育成と組織化を進め、生産基盤の整備拡充、経営体質の改善強化、規模の拡大等を図ってきた。

その結果、宮古・八重山の離島地域を中心に肉用牛経営が着実に進展し、現在では肉用牛経営が本県農林水産業の重要な基幹作目となっている。

一方、畜産における経営環境は、経済のグローバル化により、為替レート・配合飼料価格などの影響を受けやすく不安定である。また、畜産に起因する環境問題や農家の高齢化および後継者・担い手不足により、近年は、農家戸数、飼養頭数とも減少傾向で推移しているため、さらに畜産経営の安定につながる諸施策について検討する必要がある。

また、中核的畜産農家が増加した現在においては、「経営感覚に優れた担い手」の育成が必要不可欠であり、認定農業者の拡大、各種制度資金の活用、畜産経営技術改善指導事業による経営指導などをさらに拡充・強化していく必要がある。

## 2. 畜産経営技術改善指導事業

本事業は、高度な技術を基礎とした生産性の高い畜産経営の健全な発展を助長するため、畜産農家に対する診断指導を実施して畜産振興に資することを目的とし、公益財団法人沖縄県畜産振興公社(以下、公社)へ委託している事業である。  
 公社は、畜産経営体等からの要請内容、畜産経営体の実態に応じ、畜産コンサルタント団によりそれぞれの指導方法を組み合わせ、経営改善、経営安定化等のための効率的な支援である個別支援指導を以下の区分で実施している。

- ① 総合診断指導……畜産経営に係る事項を総合的に調査して経営診断分析を実施し、経営実績に対する問題点の提示、経営改善策の指導
- ② 部門診断等指導……台帳の記載等の経営管理に係る指導や、経営分析システム等の利活用に係る説明及び操作等の指導、特定の生産技術の改善や新技術の導入等についての指導、そして畜産経営体に対する各種の助言及び指導内容の定着を図るための巡回指導。

平成22年度以前

- ① 経営改善指導……経営分析により問題点を把握するとともに、問題点の改善のための指導。
- ② 経営管理技術指導・生産技術指導……財務諸表の作成及び分析手法についての指導及び特定の生産技術の改善、新技術の導入等についての指導。
- ③ フォローアップ指導……畜産経営体に対する各種の助言及び指導内容の定着を図るため巡回相談等。

(1) 個別支援指導実績(平成18年度～平成30年度)

地域	区分	(単位:件)											合計				
		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28		H29	H30		
全県	経営診断改善指導	9	10	10	10	9											48
	経営管理技術指導	16	15	12	12	16											71
	生産技術指導	10	10	6	6	12											44
	フォローアップ指導	35	35	28	28	37											163
	合計																

地域	区分	年度											合計				
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H30	H30	H30		H30			
全県	総合診断指導	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	64
	部門診断指導	22	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	141
	合計	30	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	205

※経営管理技術指導及び生産技術指導については平成18年度から統一して実施。

※過去のデータは資料編を参照。





### 3 肉用牛肥育経営安定対策事業

#### (1) 事業の目的

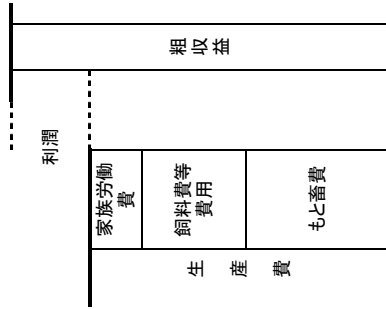
肉用牛肥育経営は、肥育もとの牛の導入から肥育牛の出荷まで長時間を要し、かつ生産費に占めるもとの牛導入費や購入飼料費などの割合が大きいことから、もとの牛価格や枝肉価格の相場、飼料価格相場によっては、経営の悪化が懸念されます。これに対応するため、生産者と国で基金の造成を行い、収益性が悪化した場合に補てん金を交付し、肉用牛肥育経営の安定化を図る事業で、県は生産者積立金の一部助成を行っています。

#### (2) 事業の内容

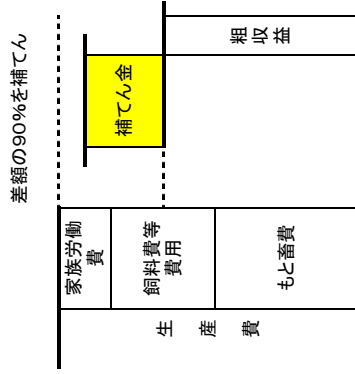
国、生産者で基金を造成し、粗収益(全国平均)が生産費(全国平均)を下回った場合に、その差額の8割を基金から補てんする。県は生産者積立金の一部を負担する。

- (1) 基金造成割合 生産者 1 : 国 3
- (2) 事業実施期間 平成31年4月～令和4年3月まで
- (3) 補てん割合 粗収益と生産費との差額分の9割
- (4) 対象品種 肉専用種、交雑種、乳用種
- (5) 対象者 肉用牛肥育経営者

(i) 通常時  
(粗収益が生産費以上)



(ii) 収益性悪化時  
(粗収益が生産費以下)



#### (3) 1頭当たりの積立金内訳

	平成22年(*)	平成24年度	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
国	60,000	39,000	54,000	54,000	30,000	36,000	24,600	12,000
生産者	19,000	12,360	17,100	17,100	9,100	11,200	7,400	3,300
県補助	1,000	640	900	900	900	800	800	700
合計	80,000	52,000	72,000	72,000	40,000	48,000	32,800	16,000

\* 平成21年7月～平成22年3月の間は、国:44,700円、生産者:13,900円であった。

\* 平成24年度からは、これまでの肉専用種に加え交雑種と乳用種も加入。交雑種と乳用種の積立金単価等に関しては、登録頭数も少ないことから記載を割愛。

\* 平成28年度から肉専用種については地域算定を実施。

#### (4) 補てん金交付実績(平成24年度～平成30年度)

平成24年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(単位:頭)
交付対象頭数①	299	244	251	394	238	198	
補てん金単価②	7,600	25,000	30,900	25,400	82,400	46,300	
交付額(①×②)	2,272,400	6,100,000	7,755,900	10,007,600	19,611,200	9,167,400	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
290	385	0	220	0	0	2,519	
50,100	8,400	0	29,600	0	0	—	
14,529,000	3,234,000	0	6,512,000	0	0	79,189,500	

平成25年度

肉専用種での補填金の発動なし

平成26年度

平成26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(単位:頭,円)
交付対象頭数①	0	0	263	236	226	0	
補てん金単価②	0	0	2,900	5,900	24,200	0	
交付額(①×②)	0	0	762,700	1,392,400	5,469,200	0	

平成27年度

平成27年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	0	0	725
0	0	0	0	0	0	0	—
0	0	0	0	0	0	0	7,624,300

平成28年度

肉専用種での補填金の発動なし

平成29年度

平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(単位:頭,円)
交付対象頭数①	0	0	0	0	0	0	
補てん金単価②	0	0	0	0	0	0	
交付額(①×②)	0	0	0	0	0	0	

平成30年度

平成30年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
241	0	0	0	0	0	0	241
13,500	0	0	0	0	0	0	—
3,253,500	0	0	0	0	0	0	3,253,500

平成30年度

平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(単位:頭,円)
交付対象頭数①	0	0	247	199	264	221	
補てん金単価②	0	0	11,400	28,000	7,700	23,500	
交付額(①×②)	0	0	2,815,800	5,572,000	2,032,800	5,193,500	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
214	0	213	0	192	235	1,785	
28,800	0	10,900	0	21,414	18,003	—	
6,163,200	0	2,321,700	0	4,111,424	4,230,627	32,441,051	





### (3) 畜産特別支援資金融通事業

#### ○畜産特別資金(大家畜・養豚特別支援資金) (平成30～令和4年度)

- ・ 資金の目的

負債の償還が困難な畜産経営に対し、長期・低利の借換資金の融通を行うことにより、経営の安定及び後継者への経営継承の円滑化を図る。

- ・ 資金の内容

畜産経営に対して長期・低利の借換資金の融通を行う農協等融資機関に対して利子補給を行うとともに、保証基盤の拡充を行う。

- ①経営改善資金

毎年の約定償還額のうち当該年度において償還が困難なものを借り換える(ローリング方式)資金の融通等

- ②経営継承資金

後継者が親等から畜産経営を継承する場合に、必要な範囲で負債を一括して借り換える資金の融通

- ・保証基盤の拡充

上記①、②の資金を円滑に融通するため保証基盤の拡充

- ・貸付対象者

- ア 経営改善資金

「経営改善計画」を作成し、都道府県知事の承認を受けた経営

- イ 経営継承資金

資金借受後に後継者が経営を継承する経営で「経営改善計画」を作成し、都道府県知事の承認を受けた経営

- ・償還期間等

#### 大家畜特別支援資金

	経営改善資金			経営継承資金
	一般	特認	残高借換	
償還期間	15年以内	25年以内		
うち据置期間	3年以内	5年以内		
貸付利率	0.20%以内			
利子補給率	1.05%以内	1.05%以内	-	1.05%以内

#### 養豚特別支援資金

	経営改善資金			経営継承資金
	一般	特認	残高借換	
償還期間	7年以内	15年以内		
うち据置期間	3年以内	5年以内		
貸付利率	0.20%以内			
利子補給率	1.05%以内	1.05%以内	-	1.05%以内

※貸付利率、利子補給率は平成31年4月末時点。

#### ○畜産特別資金(大家畜・養豚特別支援資金) (平成30～令和4年度)

- ・ 資金の内容

口蹄疫等の家畜伝染病発生により深刻な影響を受けた畜産経営に対し、経営再開等に必要な低利資金を融通する。

	経営再開資金	経営継続資金	経営維持資金
貸付限度額	個人:2,000万円 法人:8,000万円	(1頭当たり,100羽当たり) 乳用牛13万円、肥育牛13万円、 繁殖用雌牛65千円、肥育豚13千円、繁殖豚26千円、 家きん52千円、繁殖用めん羊及び山羊13千円	
償還期限	7年以内		
うち据置期間	3年以内		
貸付利率	0.75%以内		0.75%以内

## 5.リース事業による畜産経営対策

(1) 畜産経営関係リース事業の経緯(環境対策関係は除く)

事業名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
畜産近代化リース事業 (補助なし)																	
食肉販売等合理化施設整備リース事業 (補助なし)																	
畜産経営生産性向上支援リース事業 (1/3補助付き)																	
自給飼料生産性向上支援リース事業 (1/3補助付き)																	
畜産自給力強化緊急支援事業 (1/3補助付き)																	
畜産経営力向上緊急支援リース事業 (1/3補助付き、1/2補助付き)																	
畜産収益力向上緊急支援リース事業 (1/3補助付き、1/2補助付き)																	

○ 畜産近代化リース事業(補助無しリース) 昭和50年度～

畜産農家等が利用する飼料生産利用施設、家畜家さん飼養管理施設や農協・食肉センター等が利用する家畜畜産物流通施設等を貸付

○ 食肉販売合理化施設整備リース事業(補助なしリース) 昭和57年度～

食肉事業者等が利用する調製・保管機械、と畜処理用機械、汚水処理機械等を貸付

○ 畜産経営生産性向上支援リース事業(1/3補助付きリース) 平成20年度～平成22年度

畜産経営の生産性向上を図ろうとする者に対して、生産効率向上に資する機械等、労働力軽減に資する機械等、飼料費低減等に資する機械等を貸付

○ 自給飼料生産性向上支援リース事業(1/3補助付きリース) 平成20年度

自給飼料の生産効率向上を図ろうとする畜産経営に対して、自給飼料の生産効率の向上に資する機械等を貸付

○ 畜産自給力強化緊急支援事業(1/3補助付きリース) 平成21年度

畜産経営の生産性向上、生乳・鶏卵の衛生対策、飼料生産受託組織等の経営の高度化及び畜産経営の排水対策に資する機械を貸付

○ 畜産経営力向上緊急支援リース事業 平成24年度～平成25年度

畜産経営における生産性や飼料自給率の向上に必要な機械や配合飼料工場における飼料原料の多角化に必要な機械を貸付(1/3補助付き)

○ 畜産収益力向上緊急支援リース事業 平成25年度～平成26年度

飼料生産受託組織等の経営の高度化に必要な機械を貸付(1/2補助付き)  
飼料用米等の利用拡大による飼料自給率の向上、生産性の向上、畜産物への付加価値向上、労働力の軽減を図るために必要な機械を貸付(1/3補助付き)  
飼料生産受託組織等の経営の高度化に必要な機械を貸付(1/2補助付き)

## (2) 畜産近代化リーナス事業実績表

(単位:千円)

年度	自給飼料生産利用機械施設		生乳生産合理化施設				中小家畜管理機械施設		食肉食鶏処理流通施設		鶏卵処理流通施設		その他		合計	
	件数	金額	①搾乳施設 件数	金額	②生乳冷却貯蔵施設 件数	金額	③生乳検査機械 件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
51				10,505	11	10,505							11	10,505		
52				26,558	28	26,558							28	26,558		
53				40,554	38	40,554							38	40,554		
54			10	18,816	11	12,653							21	31,469		
55			6	16,041	16	18,106							22	34,147		
56			3	6,844	2	3,220			1	3,600		1	4,700	7	18,364	
57			5	9,978	2	4,688							7	14,666		
58			3	6,669	1	2,456						5	17,714	9	26,839	
59			1	2,122									1	2,122		
60					3	5,447							3	5,447		
61	2	7,483	1	2,200									3	9,683		
62	1	6,500			1	1,703							2	8,203		
63	2	3,230	2	9,764	5	13,090							9	26,084		
平元	2	12,762	4	16,604	2	5,850			3	11,560			11	46,776		
2	8	19,033	2	10,066	3	5,974	1	12,494	12	36,223	2	11,575	28	91,210		
3	2	12,932			3	11,505			11	18,886			18	54,898		
4	3	7,534	3	10,325	5	18,014			9	9,059			20	44,932		
5	1	4,909			3	10,365			12	29,860			16	45,134		
6	1	927	1	4,377	3	9,579			15	38,896	1	3,500	21	57,279		
7	8	27,272	2	8,436	2	7,355			10	55,311			3	9,373	25	107,747
8	3	8,858	1	4,501	3	11,062			37	62,542			44	86,963		
9	7	11,444	1	4,127	3	12,897			2	13,251			13	41,719		
10	8	18,321	4	26,460	3	13,931			1	2,604	1	7,070	17	68,386		
11	6	13,835	1	3,884	1	3,454							8	21,173		
12	8	14,690	2	8,663	2	7,476			18	114,450			31	146,875		
13	4	11,023	2	9,072	3	11,739			1	18,375			10	50,209		
14			1	3,507					3	5,294			1	1,750	5	10,551
15	1	422			2	8,824			8	86,596			11	95,842		
16	2	14,216	3	12,388	2	9,240			3	47,819	2	83,872	12	167,535		
17			1	3,026					9	84,114	3	8,505	14	99,074		
18	1	4,151	1	3,948	1	4,620			4	67,702	2	6,983	9	87,403		
19	4	14,933									5	83,685	10	103,333		
20	2	4,694	1	3,990					3	56,636	3	8,085	9	73,405		
21	5	8,598	1	3,780					3	16,443			1	1,422	10	30,243
22	5	8,230							8	48,225			1	4,305	15	61,166
23	5	24,071							3	5,202	1	2,100	9	31,373		
24	2	9,590							5	32,772	2	6,400	10	59,273		

年度	自給飼料生産利用機械施設		生乳生産合理化施設						中小家畜管理機械施設		食肉食鶏処理流通施設		鶏卵処理流通施設		その他		合計	
	件数	金額	①搾乳施設		②生乳冷却貯蔵施設		③生乳検査機械		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
25	4	16,391							6	23,830	2	12,832	1	1,260	1	399	14	54,712
26	2	11,068						2	6,276	2	18,885	1	1,909			7	38,138	
27	1	1,361		1	540			8	52,878	1	13,975					11	68,754	
28	2	6,199		1	859			2	6,062							2	2,865	
29	3	27,051						4	26,556							7	53,607	
30	2	5,202	1	551				10	78,203							1	4,860	
合計	107	336,930	63	210,139	161	292,264	1	12,494	82	646,204	155	664,050	10	44,162	18	50,909	597	2,257,151



## 6. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

「総合的なTPP等関連政策大綱」および「農業競争力強化プログラム」等を踏まえ、本県においても、畜産・酪農の体質強化を図るため、地域の畜産関係者が有機的に連携し、畜産クラスターの仕組みを活用することで、地域一体となり収益性を向上させる必要がある。本事業では畜産・酪農の収益力の強化を進めるため、機械導入、施設整備等の支援を行う。

### (1) 施設整備事業

事業主体名	実施年度	市町村名	畜種	事業概要	事業費	国県補助金
八重山地区畜産クラスター協議会	28～29	竹富町	肉用牛	牛舎1棟	11,070 千円	3,982 千円
八重山地区畜産クラスター協議会	28～29	石垣市	肉用牛	牛舎1棟	10,022 千円	4,640 千円
宮古地区畜産振興対策協議会	28～29	宮古島市	肉用牛	牛舎1棟	10,480 千円	4,108 千円
宮古地区畜産振興対策協議会	28～29	宮古島市	肉用牛	牛舎1棟、家畜の導入1頭	11,390 千円	4,283 千円
宮古地区畜産振興対策協議会	28～29	宮古島市	肉用牛	牛舎1棟、家畜の導入3頭	13,376 千円	4,633 千円
宮古地区畜産振興対策協議会	28～29	宮古島市	肉用牛	牛舎1棟、家畜の導入3頭	14,268 千円	4,633 千円
宮古地区畜産振興対策協議会	28～29	宮古島市	肉用牛	牛舎1棟	8,298 千円	2,805 千円
沖縄県北部地区肉用牛振興対策協議会	28～29	本部町	肉用牛	牛舎1棟	20,412 千円	11,810 千円
沖縄県養豚生産振興協議会	28～29	国頭村	豚	豚舎3棟補改修 浄化処理施設1ヶ所	45,489 千円	21,060 千円
沖縄県ブロイラー生産振興協議会	28～29	大宜味村	ブロイラー	鶏舎5棟 堆肥舎1棟	256,986 千円	94,406 千円
沖縄県北部地区肉用牛振興対策協議会	30	本部町	肉用牛	牛舎1棟	30,564 千円	16,980 千円

## (2)機械導入事業

畜種	協議会名	H28年度		H29年度		H30年度	
		件数	事業費 (補助金)	件数	事業費 (補助金)	件数	事業費 (補助金)
肉用牛	沖縄県北部地区肉用牛振興対策協議会	0	0 (0)	14	49,245 (22,799)	9	33,722 (15,612)
	中部地区畜産クラスター協議会	0	0 (0)	12	24,561 (11,371)	4	15,012 (6,950)
	南部地区肉用牛振興対策協議会	0	0 (0)	13	46,197 (21,388)	4	12,334 (5,710)
	伊江地区肉用牛振興対策協議会	0	0 (0)	0	0 (0)	4	10,620 (4,917)
	宮古地区畜産振興対策協議会	0	0 (0)	6	19,053 (8,821)	5	13,668 (6,328)
	八重山地区畜産クラスター協議会	0	0 (0)	28	122,274 (56,608)	4	26,273 (12,164)
	沖縄県酪農生産推進協議会	4	36,774 (17,025)	4	13,840 (6,408)	0	0 (0)
	沖縄県養豚生産振興協議会	1	2,646 (1,225)	37	160,115 (74,127)	0	0 (0)
養豚	養豚繁殖技術向上クラスター協議会	0	0 (0)	5	24,745 (11,456)	2	508 (235)
	琉球養豚生産振興協議会	0	0 (0)	0	0 (0)	1	2,262 (1,047)
	養豚生産技術向上クラスター協議会	0	0 (0)	2	3,402 (1,575)	1	421 (195)
採卵鶏	沖縄県採卵鶏生産振興協議会	0	0 (0)	3	9,775 (4,525)	1	4,802 (2,223)
	JAおきなわ採卵鶏クラスター協議会	0	0 (0)	0	0 (0)	3	14,323 (6,631)
ブロイラー	沖縄県ブロイラー生産振興協議会	1	4,428 (2,050)	2	8,878 (4,110)	4	10,759 (4,981)